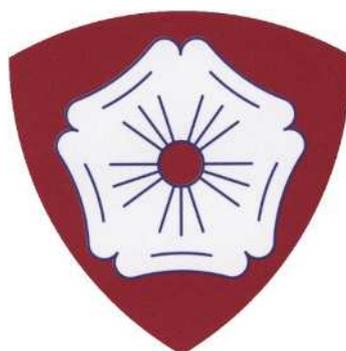


2021(令和3)年度

# 事業計画書

2021(令和3)年4月1日より

2022(令和4)年3月31日まで



学校法人 九州ルーテル学院

# 目次

学院基本方針	P. 2
大学事業計画	P. 3～
大学付属黒髪乳児保育園事業計画	P. 10～
中学・高等学校事業計画	P. 12～
認定こども園事業計画	P. 14～
法人運営計画	P. 16～
学院組織図	P. 20
法人組織	P. 21
教職員組織	P. 22
園児・生徒・学生数	P. 23
年間行事予定	P. 24～

## 2021年度 学院基本方針

九州ルーテル学院は、1926年、日本福音ルーテル教会より任命された初代院長マーサ・B・エカードにより創立され、今年で創立95年目を迎える。

創立以来、キリスト教学校として、学院聖句である「私が来たのは、羊に命を得させ、豊かに得させる為である。」(ヨハネ・10・10)に基づいた学院標語(スクールモットー)である「感恩奉仕」のもと教育を行ってきた。

創立100周年に向かういま、建学の精神を「感恩奉仕」また学院聖句とともに統一的に使えるよう、「キリスト教の精神に基づく人格教育を行い、識見を高め、情操を養い、愛をもって平和を実現するために、神と他者と共に進んで奉仕する人を育成する。」とし、合わせて、学院のミッション・ステートメント(使命宣言)を「九州ルーテル学院は、キリスト教の精神に基づき、神を畏れ他者を愛する人格を養成すること、すなわち、ここに集うすべての者が、イエス・キリストを模範とし、学院標語である「感恩奉仕」を進んで実現する人となるよう育むことを使命とする。」と明確な位置付けを行ったところである。

しかし、教育界とりわけ学院を取り巻く状況は、厳しさを増している。少子化の進展に伴う競争の激化、「私学法の改正」、大学入試制度改革及び中高校に置ける「探究」「プログラミング学習」など新学習指導要領への対応等、ますます多様化する教育ニーズや社会的ニーズへの対応という課題に直面している。さらに、新型コロナウイルス感染症の状況により、遠隔授業のさらなる充実等、引き続き感染防止対策についても万全を期す必要がある。

このような状況下にあって、学院全体で危機感を共有し、学生・生徒・園児はもとより保護者や地域社会の期待に応えるために、幼・中・高・大の連携が求められている。そのためには情報の共有化や教研などを通して、各学校の特徴を活かした教育内容の深化に努力したいし、そのための教育環境の整備・充実にも努力したい。

また創立100周年及びそれ以降を見据えた中長期計画を立て、そのもとで学院の方向性を示していく必要がある。そのためにも創立100周年の事業委員会を組織し、そのもとで取組みを進めたい。

1. 創立100周年記念事業への取組みを開始する
2. 教育制度改革に向けた取組みを行う。
  - a. 教職員協働による組織力の強化
    - ア. キリスト教教育の充実、キリスト教行事や礼拝への参加・協力
    - イ. 幼・中・高・大の連携の強化、特に高大接続の推進を更に進める。
    - ウ. FD・SD(教職員の専門的能力の向上)、研修等によるスキルアップへの取組み。
  - b. 教育環境の整備
    - ア. ICT教育の環境整備・老朽化に伴う改修
  - c. 広報活動を強化し、積極的な情報開示、情報の受発信
3. 働き方改革への取組みを進める。
4. 募集力の強化に努める。
5. ステーク・ホルダーとの連携
  - a. 保護者、同窓会、教会関係等の外部関係団体との連携
  - b. 学院モニター等による外部評価の実施

以上を方針としながら各部門の事業計画達成を目指す。

# 2021年度九州ルーテル学院大学事業計画

## はじめに

本学では、私立学校法の改正に伴い、学校法人に対して2020年度から中期計画の策定が義務付けられたことにより、当初、2021年度に策定・開始予定であった次期ビジョンについて前倒しを行い、第2期中期目標・中期計画「ビジョン2020」(以下「ビジョン2020」という。)を策定し、既に同計画を始動させている。

第1期中期目標・中期計画「ビジョン2014」(以下「ビジョン2014」という。)の最終(総括)年度であり、ビジョン2020の開始年度でもある2020年度には、本学での7年間を通じた活動の成果と課題について年度ごとに別添のとおり一覧表に示している。

ビジョン2020では、特に、教育研究活動について各学科等の将来構想(ビジョン)を示すことにより、大学全体として取り組むべき計画等を明確にしている。

このことを踏まえ、2021年度は、ビジョン2014の活動成果と課題を全学で共有し、継続課題については、ビジョン2020の遂行期間で解決を図りながら、第3期認証評価(2023年度～2029年度)への対応等新たな挑戦へと向かう1年としたい。

前年度から副学長2名(教務担当、学生支援・学生募集担当)及び学長補佐3名(研究・地域連携・広報担当、点検・評価担当、教学IR担当)、事務組織として学長室を置き、学長のガバナンス(教学・大学運営)の強化を図ってきた。

2021年度は、次年度の認証評価受審も見据えて、以下に掲げる8つのビジョンの下に策定した中期計画に基づき、各年度計画を着実に取り組んでいきたい。そのためには、すべての構成員によるミッションの自覚とビジョンの共有をさらに深めていく取組も必要である。

また、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えて、引き続き、遠隔授業の充実等に必要な予算の重点配分等、年度計画に反映させることにより、同感染症の防止対策についても、万全を期したい。

## 1. ビジョン I (人間形成)

(1) 建学の精神・理念の具現化、めざす人材像の育成

- ① 礼拝、ボランティア活動、地域貢献活動などの活性化
- ② 宗教センター及びボランティアセンターの規程整備に伴う運営委員会の設置。センターのホームページ作成により、諸活動について積極的に情報発信を行う。

## 2. ビジョン II (教育)

(1) 学修者本位の教育の実現(修学ポートフォリオの整備)

- ① 教育・学修成果の可視化
  - ・学修評価表(ディプロマ・ポリシーから学生に身につけさせたい能力を抽出。その能力がどの程度身についたのかを履修科目のGPと関連づけて数値化し、分かりやすく示したもの)の運用
- ② 成績評価の信頼性の確保
  - ・2021年度入学生から導入する成績評価ガイドラインにおいてキャップ制(履修登録単位数の上限緩和)の適切な運用

- ・卒業研究ルーブリック等の運用開始を含め、厳格な成績評価の実施を通じて、評価の公平性を担保
- (2)3つの方針を通じた学修目標の具体化
  - ・ディプロマ・ポリシー到達度に関する学生の自己評価データの分析やカリキュラム・マップの策定による開講科目とディプロマ・ポリシーとの関連性の検証
- (3)共通教育科目の充実
  - ①STEAM教育(データサイエンス教育)をさらに充実させるため、2020年度の「統計学」に続き、2021年度から「基礎の数学」を開講。人文学科の学生の履修指導に努める。
  - ②「フレッシュマン・ゼミ」での自校教育や主権者教育等の充実、新規サービスラーニング科目の導入
  - ③ルーテル学院大学との包括連携協定に基づき、遠隔授業システムを活用した単位互換の推進
- (4)次年度開始予定の大学院人文学研究科における公認心理師養成課程の申請
- (5)新型コロナウイルス感染症対策
  - 前年度に引き続き、遠隔授業システム Moodle やウェブ会議システム Zoom を活用した授業を対面授業と同等の効果で、かつ、学生からの評価が高い授業の実施

### 3. ビジョンⅢ(学生の受入れ)

少子化対策としての学生募集に係る中期戦略(入学者計画)を策定する。

- (1)入学選抜制度の根本的見直し
  - ①今年度より実施された共通テストへの対応
  - ②入学試験時の成績(面接点、評定値や調査書点)と入学後のGPAとの関連性についてのデータを基にした入学試験の実施方法の検討
  - ③アドミッション・ポリシーとの整合性の観点からの選抜方法の改善
  - ④保護者との連携強化策としての後援会の発足
- (2)学生募集関連活動の充実
  - ①新型コロナウイルスの感染拡大による募集・広報活動の実施方法の見直し
    - ・LINE公式アカウント、ホームページ等各種媒体の充実による発信力の強化
    - ・オープンキャンパス、高校訪問、出張講座の見直し。Zoom での個別相談の実施
- (3)ルーテル高校との高大連携の推進
  - ・連携プログラム「キャンパス Visit & Try」の活性化、英語教育での連携

### 4. ビジョンⅣ(学生支援)

- (1)学生の迷いとやる気に寄り添う支援
  - 少人数制のよさを活かした就職・進路支援。特に新型コロナウイルス感染拡大に伴うきめ細やかで丁寧な対応と支援
- (2)障がいのある学生への修学支援の充実
  - ①学生によるサポートボランティア組織「サポーターSHIP-S」の活性化
  - ②熊本大学等と連携した遠隔操作によるパソコンテイクの相互利用等の活用

### (3)学修・生活支援の充実

- ①学生の意見(Student voice 委員会、学生自治会)を反映した支援の充実
- ②オンラインを含めた採用試験対策講座の実施等

## 5. ビジョンV(研究)

### (1)学科間の垣根を超えた研究の推進による新たな拠点の形成

- ①「フィンランドの社会」をテーマとする研究
- ②人文学科こども専攻(保育コース)、心理臨床学科、こころとそだちの臨床研究所、認定こども園ルーテル学院幼稚園及び黒髪乳児保育園との共同研究等

### (2)学外との共同研究の推進

- ①九州ルーテル学院大学研究シーズ集(仮称)の作成
- ②『VISIO』及び『心理・教育・福祉研究』の掲載論文の増加

## 6. ビジョンVI(国際理解)

### (1)グローバルセンターの活性化

- ①センター規程の整備に伴う運営委員会の設置。センターのホームページの作成により、諸活動について積極的に情報発信を行う。
- ②異文化理解推進の拠点としての学生委員の活用

### (2)学生の留学・異文化体験学修、海外ボランティア学修の充実

- ①ツーリズムに関する授業の導入

## 7. ビジョンVII(地域貢献)

### (1)地域社会の知的基盤としての地域貢献活動の充実

- ①合志市へのソーシャルワーカーの派遣及び「見守りサポーター養成講座」の実施
- ②保育士の資質向上のための研修会及び付属園等の保育者と学生が交流する研修会の開催

### (2)学生団体や大学諸施設を活用した地域貢献活動の充実

- ①授業開放(キリスト教講義。You Tube による配信)
- ②「ジャニス」におけるカウンセリング

## 8. ビジョンVIII(経営基盤)

### (1)経営ガバナンスの強化(大学運営)

- ①2023年度からの2学科3専攻への再編構想の具体化
- ②リスクマネジメントへの対応(大学事業継続計画の策定)
- ③学科再編等の将来計画を見据えた教員の配置とポスト管理
- ④卒業生との連携(ホームカミング日の継続開催)
- ⑤黒髪乳児保育園の在り方(将来計画)の策定

### (2)財政基盤の安定化

- ①私立大学等改革総合支援事業への継続申請(シームレスな教育制度改革)
- ②後援会の組織化等による外部資金の増加策
- ③科学研究費補助金等の競争的資金の申請増

- ④学長、両副学長、事務部長等による予算編成に関するヒアリングの定例化
- (3)教育研究環境整備計画
  - ①学生等の要望を踏まえた施設整備計画の策定と毎年度1件以上の修学環境の整備
  - ②遠隔授業活用推進事業への対応(遠隔授業システム Moodle 上でのオンデマンド講義の円滑実施のための情報環境の構築)
- (4)自己点検・評価、認証評価関係
  - ①ビジョン2020の各年度計画の着実な実施
  - ②内部質保証の推進(教育の質保証を始めとする教育研究活動等の質向上)
  - ③外部評価の定期的な受審に向けた制度設計(外部評価報告書の作成)

●ビジョン2014活動実績(2014～2020 年度)

年度	教育面	教育面以外
2014	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムの開始</li> <li>・カリキュラム・ポリシーの見直し</li> <li>・図書館新システムへの移行</li> <li>・中高大進学連携委員会を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童教育コース完成年度</li> <li>・こころとそだちの臨床研究所の設置</li> <li>・教職・保育支援センターの拡充及び改修</li> <li>・合志市との包括連携協定締結</li> <li>・ルーテル学院全体の2024年までのキャッシュフロー・モデルを策定</li> </ul>
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・ポリシーの見直し</li> <li>・シラバスに事前・事後学習欄を追加</li> <li>・中高図書館との相互利用が可能に</li> <li>・大学院で授業料減免制度の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学基準協会第2期認証評価受審、適合認定の獲得(2016年度～2022年度)</li> <li>・障がいのある学生の大学院での修学支援体制の整備開始</li> <li>・広報活動におけるスマートフォン対応媒体の開始</li> <li>・ビジネス電話実務検定で文部科学大臣賞を受賞(2019年度も)</li> </ul>
2016	<b>熊本地震の発生→被災下での地域支援、授業実施や学生支援、復旧工事等</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドミッション・ポリシーの見直し</li> <li>・履修モデルの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広渡純子学長が着任</li> <li>・第2期認証評価期間の開始(2016年度～2022年度)</li> <li>・和水町との包括連携協定締結</li> <li>・学院90周年に伴う記念誌の発行、記念行事の開催など</li> <li>・大学付属黒髪乳児保育園が開園</li> <li>・学内研究活動補助金制度を教育改革・研究奨励制度へと改称</li> <li>・学長室会を設置</li> <li>・地域連携推進センターの設置</li> <li>・IR委員会による学生調査の開始</li> <li>・学院レベルの中長期財務基本計画策定</li> </ul>
2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webポータルシステム Active Academyの導入</li> <li>・シラバスに評価の観点を追加</li> <li>・授業参観ウィークの開始</li> <li>・SD委員会の発足</li> <li>・PEP-Net Japan シンポジウムのコンテストでの入賞(2019年度も)</li> <li>・幼中高大接続協議会への改組(2015、2016年度も改組あり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント基本規程及びリスクマネジメント・ガイドラインの策定</li> <li>・私立大学等改革総合支援事業で特別補助金を獲得</li> <li>・ラーニング commonsの設置</li> <li>・大学創立20周年に伴う記念誌の発行、記念行事の開催など</li> </ul>
2018	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント・プランの策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊池市との包括連携協定を締結</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーテル学院大学との連携協定締結</li> <li>・教育の質保証に関する規程の策定</li> <li>・障がいや理由とする差別の解消の推進に関する対応要領の策定</li> <li>・大学キャンパス Visit &amp; Try が開始</li> <li>・Student voice 委員会の設置</li> <li>・教職課程再課程認定の申請</li> <li>・学部で公認心理師養成課程の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのリニューアル</li> <li>・卒業時アンケートの開始</li> <li>・ファクトブックの発刊(2018～)</li> <li>・私立大学等改革総合支援事業(プラットフォーム形成)での補助金をコンソーシアム熊本で獲得</li> <li>・wi-fi スポットの増設</li> <li>・大学中長期財務基本計画を策定</li> <li>・大学中長期施設整備計画を策定</li> </ul>
2019	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科・専攻・コースのディプロマ・ポリシーの策定</li> <li>・学生・教員教育改善検討会及び学生参画型FDの実施</li> <li>・熊本大学数理科学教育センターとの教育連携協定の締結(統計学講義の開始 2020年度～)</li> <li>・授業評価アンケートのWeb化</li> <li>・FD・SD委員会への改編</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究ブランディング事業の3つのプロジェクトを開始(研究ブランディング事業推進本部の設置)</li> <li>・ホームページへの動画掲載(広報)</li> <li>・内部質保証規程及び内部質保証方針に基づき、内部質保証推進会議を設置</li> <li>・教員養成評価機構による教員養成教育認定評価を受審</li> <li>・第二期認証評価「改善報告書」を提出</li> <li>・外部評価受審用の点検・評価報告書の作成</li> <li>・雇用先アンケート及び卒業生アンケートの開始</li> <li>・非常時のための備蓄開始</li> <li>・SNS活用のガイドラインの策定</li> <li>・職階に助教を追加</li> <li>・グローバルセンターのリニューアル</li> <li>・ダウン症支援部が文部科学大臣賞受賞</li> <li>・古本募金の立上げ</li> </ul>
2020	<b>新型コロナウイルス感染症の流行→対策本部の設置→各種対策の実施</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マップの策定</li> <li>・共通教育ワーキンググループの設置 →共通教育の見直しが進む</li> <li>・学科・専攻再編計画の概要決定</li> <li>・成績評価ガイドラインの作成</li> <li>・ティーチング・ポートフォリオの作成</li> <li>・卒業研究ルーブリックの作成</li> <li>・学修評価表の作成</li> <li>・オンデマンド型授業での授業参観</li> <li>・学生が障がい学生支援組織「サポーターSHIP-S」を結成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年前倒してビジョン2020を開始 「地域に夢がある、世界に学びがある、夢と学びをつなぐ大学」をコミュニケーションワードに加える。</li> <li>・学院の理念等の見直し。「感恩奉仕」をスクールモットーに位置づけ</li> <li>・志望順位による得点調整制度の部分的導入(募集)</li> <li>・教員採用試験の合格者数が過去最大に</li> <li>・教育改革・研究助成制度予算を増額</li> <li>・競争的資金獲得助成金制度の創設</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド型図書館システムへの移行</li> <li>・遠隔授業システム Moodle の導入</li> <li>・大学院で2022年度開始予定の公認心理師養成課程の3ポリシーが確定</li> <li>・公認心理師養成に特化した大学院(研究科)への改編(こころとそだちの臨床研究所内に学内実習施設を整備)</li> <li>・「授業開放」制度の創設により本学の開講科目の社会人への提供を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の社会貢献活動奨励制度の創設</li> <li>・学生及び学生団体の社会貢献活動表彰制度の創設</li> <li>・海外体験学修奨学金制度の創設</li> <li>・ブログ「ルーテルなう」での発信</li> <li>・オンラインホームカミングデーの開催</li> <li>・副学長の設置及び学長補佐の新設</li> <li>・客員教員制度の創設(客員教授規程の見直し)</li> <li>・教員人事方針の策定</li> <li>・「自己点検・評価実施要領」の作成</li> <li>・内部質保証推進会議で期中評価を実施</li> <li>・外部評価委員会の設置、外部評価の受審</li> <li>・教職・保育支援センター、ボランティアセンター、宗教センター及びグローバルセンターの規程整備</li> <li>・学部での授業料改定</li> <li>・大学院(人文学研究科)の納付金改定承認</li> <li>・学内全教室無線 LAN 化による次世代ネットワークの運用開始</li> <li>・自閉症支援部が文部科学大臣賞受賞</li> <li>・大学事務組織(学務・入試センター、学生支援センター)を学長室、総務課、教務課、入試課、学生支援課に改編</li> <li>・学生ラウンジの改修</li> <li>・1402、1406教室の改修</li> <li>・大学の予算編成方針及び施設整備計画の策定</li> <li>・創立100周年「学院将来構想(グランドデザイン)」に着手</li> </ul>
---	--

※「第1期中期目標・中期計画(ビジョン2014)完了報告書」から抜粋

## 2021年度 黒髪乳児保育園事業計画

### 1. 園児数について

(ア)新年度は33名(予定)でスタートする。2次選考の結果がまだ終了していないが、若干名の園見学者があり増加が見込まれる。

(イ)園児数の推移予測を以下に示す。

表1 園児数推移(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年度	47	48	49	51	54	51	51	51	53	54	54	54
2019年度	39	41	41	42	43	44	44	43	41	41	41	41
2020年度	31	30	31	32	35	40	41	41	44	44	44	44
2021年度	33	34	35	35	38	43	44	44	47	50	50	50

#### ①入園児目標数 50名

例年どおり0歳児及び1歳児を中心に園児募集に取り組んでいくが、3歳児の入所も積極的に受け入れる。

#### ②保育加配数

採用保育士が増員となるが、嘱託保育士1名が産前産後休暇及び育児休暇を取得するため、保育加配数は昨年と同様である。

#### ③魅力ある3歳児保育にするための改善に努める。

- ・大学との連携による英語遊び、運動遊び等の時間を取り入れる。
- ・3歳児の卒園後の進路として、1号認定としてルーテル学院幼稚園に優先的に入園できることを入所時にアピールする。

### 2. 園内研修について

(ア)保育士及びその他専門職の質の向上を図るために、体系的、継続的な園内研修を行う。園内研修の具体的な取組を以下に示す。

#### ①職能別研修:

付属園理念・方針の共通理解を図るための研修、接遇・マナー研修、保育リスクマネジメント研修、保護者支援研修など

#### ②階層別研修:

リーダー研修、中堅職員研修など

#### ③キリスト教保育研修;

2020年度から継続してチャプレンによる聖書学びの会及びキリスト教保育園連盟等研修の参加。また、室園教会において園児とともにキリスト教行事に参加する。

#### ④大学との連携によるオンライン研修の継続

#### ⑤こども園との連携(4歳児、5歳児の保育参加)

(イ)上記研修内容については、園内研修委員会(リーダーは主任保育士)が計画し、実施する

### 3. 保育内容について

- (ア) コロナ禍の生活様式の継続を見通して、全体的な計画(保育課程)を見直すことに伴い、行事計画、指導計画、保健計画及び食育計画を再検討する。
- (イ) 保育士一人ひとりが根拠のある保育実践ができるようにする。
- (ウ) 0歳児からの主体性を重視した保育への取組
- (エ) 保育士が同僚性を発揮し、共通理解のもとに保育実践ができるようにする。
- (オ) 特別支援コーディネーターと地域専門機関及び病院との連携による特別支援及び支援計画の充実
- (カ) キリスト教保育の推進
- (キ) 大学施設利用の園外保育の充実
- (ク) ICT、オンライン設備充実による保育業務の軽減化と充実

#### 4. 保護者連携の充実

- (ア) 食育(離乳食、幼児食の料理教室、給食試食会)を通して保護者同士の育児情報交換を深める。
- (イ) 個人面談の充実(各家庭に寄り添った対応)年2回実施。状況により園長及び担任がその都度面談を実施
- (ウ) リーフレット、ホームページ(動画、写真配信)の充実
- (エ) オンラインによる保護者会の開催

#### 5. 転園、卒園後の連携

- (ア) “子どもの育ちを支える”資料の送付。卒園後は連携による施設訪問を実施

#### 6. 外国籍家庭の支援

- (ア) キリスト教保育への理解
- (イ) 書類の英語表記の拡大と宗教食に対する年齢別の細かな食事指導(離乳食の進め方等)

#### 7. その他

- (ア) 第三者評価への取組

# 2021年度 中学・高校 事業計画

## 1. 2020年度の特異な事情、及びルーテル学院が抱える課題

2020年度は、何と言っても新型コロナウイルス感染による全国一斉休校、そのための学力の保証や生徒の生活健康状態の把握等のための対策に時間がとられ、前年度の教職員研修の継続が出来なかった。また、マスタープラン委員会をプロジェクトチームとして位置づけ、中期計画を策定する計画を立てていたが、2021年度の新入生から一人1台持たせるタブレットによる授業等の研究もあり、途中で年度末を迎えるという事態となってしまった。

入試課題においては、中学は定員を少し下回る入学生、また高校は定員を上回る入学生を迎えることが出来、将来に向けての経営の安定に不可欠な定員の確保に近づくことができた。

ただもう1つの課題である中退者の減少については、残念ながら取り組みが出来なかった。反省点である。

## 2. 学校の基本目標

・「来て良かった(在校生)」「やって良かった(保護者)」「出て良かった(卒業生)」「働いて良かった(教職員)」学校を目指す。そのために生徒の「居場所」を設けることと「出番」を与えることに努力する。

・「育てたい生徒像」

『あしたを拓く生徒』(仮)－ 豊かな人間力と確かな学力 －

## 3. 具体的事業計画

### (1) 施設計画

- ① プール建設・テニスコートの整備
- ② ①も含めた100周年以降に向けての設備に関する将来計画の立案

### (2) 教学面

#### ① キリスト教教育の充実

- a. 「感恩奉仕」に示される建学の精神と教育理念を基にしたキリスト教教育の充実をはかる。
- b. 研修会等を通じての教職員の教育力向上に努力する。

#### ② 校務運営の充実

- a. 教職員間での情報共有と行動連携を測り、組織力を高める。
- b. ルーテル中高が抱える課題を明らかにし、解決するための教研を計画的に実施する。

#### ③ 「2020年度以降の大学入試改革・新学習指導要領」への対応と進路保障に取り組む。

- a. 「プログラミング」、「探究」などの新教科を通じて学校改革につなげる。
- b. 生徒の参加型授業等を中心にした学習指導(教科指導)を通じ、授業力、担任力などの教師のスキルアップに努力する。
- c. 「スタディサブリ中学講座」の導入

#### ④ 生徒が将来社会を支える人材へと育つために、自己コントロール力・表現力・対応力・忍耐力等の育成に努力する。

- a. 様々な機会を通し、生徒が自ら考え行動できる力を育む。
  - b. 他の人たちと協力して課題に立ち向かうコミュニケーション力を育む。
- ⑤いじめの防止や特別支援教育の充実に更に努力し、
- a. いじめ事案等には適切な対応を図り、またその防止のためにも他への思いやりの心を育てよう努力する。
  - b. 発達障がい等の特別支援への組織的取り組みを継続する。不登校等による進路変更への対策を組織的に取り組む。
- ⑥生徒募集活動の強化を図る。
- a. 総合コース、特進コースや芸術コース等の教育内容を実態に即して見直し、生徒の満足度を高め、結果としての定員充足につながるよう努力する。
  - b. 学院全体の教育を見直し、ルーテルらしい特色ある教育に取り組む。また募集活動にも力を入れる。
  - c. ホームページ等の更新など外部への発信力を高める。
- ⑦国際交流プログラム等を充実させる。※新型コロナウイルスの状況を見て
- a. 全州新興高校(韓国)：8月に研修旅行を実施。両校で教師交換の機会も検討する。
  - b. インマヌエル・カレッジ(豪州)・オークグローブ高校(米国)等との交換留学制度と短期研修の充実を図る。
  - c. 上記に加え、アメリカ・メイヤー高校、県と姉妹関係にあるモンタナ州のや台湾の大学との連携も検討する。
- ⑧中高大の連携、高大接続への具体的に取り組む
- a. 幼中高大の連携を具体的な教育プログラムを考え、取り組みを行う。
  - b. 高大接続を拡大、強化する。特に対話を増やし、互いの理解を深める。

# 2020年度認定こども園 ルーテル学院幼稚園事業計画

## 1. 保育・教育目標について

「神と人から愛され、ただしい、あかるく、げんきなこどもになろう」

### 目指す子どもの姿

- ① 神様から与えられた「いのち」を尊び『神を愛し、尊び、畏れる心』をもつ子ども。
- ② 心身ともに健康で、大切な一人であることを実感する子ども。
- ③ 自我の芽生えと探求心をもって主体的に遊びこむ子ども。
- ④ 一人一人の違いを受け止め、他者に対して思いやりの心をもつ子ども。
- ⑤ 感じたこと・思ったことを、さまざまな形で表現できる子ども。

## 2. 具体的な保育・教育計画と職員研修について

- ① キリスト教行事の推進と礼拝への招き
  - ・園児礼拝・・・日々の祈り・合同礼拝・キリスト教行事への取り組み
  - ・保護者に向けて・・・年間2～3回の家族礼拝と定期的な聖書の学び
  - ・教職員の礼拝への招き
- ② 乳幼児期からの豊かな育ちを保障する
  - ・『保育教育要領』『キリスト教保育指針』を基に、領域や10の姿を明確に推進する
  - ・生活習慣(食・睡眠・歯など)の確立と見直しの取り組み
  - ・主体的に遊びに取り組めるような、人的・物的な環境構成
  - ・食育の充実(畑・味噌作りなど体験をとおしての学び・保護者への啓発)
  - ・特別支援教育の充実と支援計画への取り組みを継続する
- ③ 教職員の技能・経験・専門性を高める研修、キャリアアップ研修、定期的な園内研修の計画の充実

## 3. 子育て支援・保護者支援について

- ① 未就園児・その保護者のための活動「こひつじの会」の定期的な開催と内容の充実を図る
- ② 地域に開かれた活動・・・黒髪校区の子育て支援活動や敬老会等との連携していく。
- ③ 大学との連携や地域専門機関(病院・療育機関など)との連携を保ち、支援していく体制を整えることを目指す。

## 4. 園児募集について

認定こども園に移行し、6年が経過しようとしている。定員 180 名に対する推移は以下の通りである。

2015 年度		2018 年度	174 名	2021 年度予定	159 名
2016 年度	169 名	2019 年度	170 名		
2017 年度	174 名	2020 年度	166 名		

**\*2021年度園児在籍数(3/1現在予定)【新入園児39名・進級児120名 総数 159 名】**  
**内訳は、1号認定・・・85名、2号認定・・・48名、3号認定・・・26名となっている。**

- ① 少子化傾向にあるものの、熊本市の2・3号認定の待機児童は、いまだ解消されない現状と本園への入園希望者も2・3号認定への希望が増員していることから、2021年度4月よりの2・3号認定の定員数を増員申請中である。確定後、順次受け入れていく。  
**【申請後の定員数:1号認定・・・95名、2号認定・・・55名、3号認定・・・30名】**
- ② 黒髪乳児保育園とし連携、4歳児の入転園を可能にしていく。
- ③ 未就園児・その保護者のための活動「こひつじの会」の定期的な開催や園開放などを通して、周知していく。
- ④ ホームページなどを利用し、最新の情報を提供していく。

## 2021年度 法人・事務部門 事業計画

### 1. 学院共通目標

- (1)建学の精神の具現化
- (2)経営基盤の安定(事業会社設立による収入の多角化と業務削減)
- (3)施設整備・将来構想計画(グランドデザイン)
- (4)創立 100 周年記念事業に係る準備・実施
- (5)組織力の強化
- (6)地域社会への貢献

法人・事務部門は、建学の精神や教育理念を理解し、現場の実情に合わせて主体的に考え、互いに協力しながら、共通の目標に向かって実践していけるコミュニケーション力のある人材の育成と体制づくりを行っていきます。自己研鑽を怠らず、各種研修や個人面談を織り交ぜながら、専門性及び資質の向上に向けた支援を行っていきます。

具体的には共通目標と部門・部署及び個人目標を連動させ、個人と学院の成長・発展を促していきます。特に、事務職員に求められる資質として学院の現況等を把握した上で、各部門の役割・各職責を更に自覚し、連携意識をもって積極的にチャレンジします。

また、教育の質向上のためには、財政基盤の安定は不可欠です。確実な収入の確保(納付金・外部資金の獲得)及び業務改善・効率化による経費削減を図る必要があります。

今般、事業会社を設立し、収入の多角化、契約の見直し及び業務効率化に向けて、体制を整備していくこととします。

なお、九州ルーテル学院は、2026年に創立100周年を迎えます。これに先立ち、2021年度から、「学院将来構想整備(グランドデザイン)」として、施設整備を始めとした学院の中長期的な将来構想を構築していく予定です。

更には、組織力の強化として、組織再編・人員配置の見直しを行い、危機管理・法令遵守体制を整備し、的確なリスク管理・労務管理を行う。学外においては、地域との連携を深め、社会に貢献していきます。

## 2. 部門別主要業務

### 【大学】

#### 1. 九州ルーテル学院大学将来像の検討（学長室）

- (1) 地方私立大学としての強み・特色の発揮
  - ①人文学科再編等将来計画の策定
  - ②自治体、企業等との産学連携の推進
- (2) 地方国立大学の定員増への対応
  - ①熊本県内の国公立大学等との連携
  - ②ルーテル学院大学との連携強化

#### 2. ビジョン2020（中期計画）及び各年度計画の推進

- (1) 学長ガバナンス発揮のための支援体制の充実・強化（学長室）
  - ①副学長ミーティング及び学長補佐会の実質化
    - ・人事・予算管理・施設整備計画・私立大学等改革支援事業等補助金への申請
    - ・教職課程の自己点検・評価制度への対応
  - ②2021年度受審予定の大学評価への対応
    - ・教職員の大学評価、各種改革等に関する意識改革（教職協働の推進）
- (2) 情報公開の対応等に必要の根拠資料等の見える化（DB化）（各課共通）
- (3) 新型コロナウイルス感染症への対応（各課共通）
- (4) 教学マネジメント指針等で求められる教育改善等への対応（教務課）
  - ①学修効果（教育効果）の測定と分析（学修成果及び教育成果の可視化）
  - ②カリキュラムマップ、アセスメントプランの整理・強化
  - ③新成績評価基準と成績評価ガイドラインの導入
  - ④修学ポートフォリオの導入
  - ⑤ルーテル学院大学との遠隔授業による単位互換制度の実現
- (5) 入試制度改革への対応（入試課）
  - ①入学定員及び収容定員の超過率目標に沿った学生確保計画、入学者選抜の実施
  - ②2023年度からの社会人選抜制度の整備と地域の社会人の学びの場の構築
  - ③Web出願制度の整備
- (6) 学生の迷いとやる気に寄り添う支援（学生支援課）
  - ①コロナ禍における学生情報の共有と学生支援
  - ②Student voice委員会及び学生自治会活動の充実
  - ③障がい学生サポーターの育成・活動の強化、他大学との連携強化
  - ④各種奨学金情報提供などの経済的支援の充実
  - ⑤雇用先アンケートの結果等を踏まえた適切な就職指導・アドバイス及び提案等の実施
- (7) 大学独自のルーテルブランドの構築、リスクマネジメントへの対応（総務課）
  - ①大学予算の見える化（効果的な予算配分の追求）
  - ②大学ホームページの更新（ステークホルダーへの効果的な情報提供）
  - ③事業継続計画（大学版BCP）
  - ④教授会、各種委員会における審議情報の発信力の強化
  - ⑤大学事務部と教員との連携（情報共有）の場の構築
- (8) 黒髪乳児保育園の在り方（収容定員確保に向けた取組の充実）（総務課）
  - ①他の認定こども園、保育園等との違い（特色の発揮）

大学付属保育園としての強みである大学（人文学科保育コース等）の教育研究資源を活用した保育事業の展開

②2022年度受審予定の第三者評価への対応

③ホームページの充実による広報強化

## 【中高】

- (1) 新プール・テニスコート整備計画
  - ・プールとテニスコートの建築に向けて遅延防止と生徒の事故防止に努める。
- (2) 授業料徴収、クラス費処理等の業務の改善・効率化
  - ・学費管理システムを改善することにより、クラス費業務を効率化する。
  - ・学費管理システムと e-Shien（高等学校等就学支援金オンライン申請システム）との連携による作業効率UP とヒューマンエラーの防止を図る。
- (3) 予算の執行状況の把握と管理
  - ・予算管理者と連携し、部署ごとに細かく予算執行状況を確認することによるコスト削減を図る。
- (4) 寄付金・補助金などの積極的な獲得
  - ・新入生寄付に加え、在校生寄付も検討していく。
  - ・補助金を積極的に獲得していく。
- (5) 教務事務の見直し
  - ・教員と事務職員による業務の仕分けを再検討し、効率化を図る。
- (6) 清掃・営繕等定期的な施設点検、早期修繕の実施
  - ・生徒だけの清掃ではなく、定期的に汚損しているところの補修を

## 【こども園】

- (1) 事務業務の効率化
  - ・慣例としてきたことを見直し、業務内容の見直しに取り組む
  - ・収支に見合った予算計画と補助金申請の計画立てを実施する。
- (2) 業務の ICT 化
  - ・事務作業の簡略化により、スキルアップの時間を確保する
  - ・残業等を減らし働き方改革に取り組む

## 【法人事務局】

### 1. 事務部門の人材育成に向けた取組の強化

- (1) 職員の資質向上と評価制度の適正な運用
  - ・階層別研修等を計画的に実施し、各部門の役割及び各職責を更に自覚し、連携・行動する。
  - ・自己評価制度における個人目標に係る支援及び面談等による評価を確実に実施する。
- (2) 人事・労務管理の充実
  - ・教職員の略歴等について、システム登録による人事管理の整備を行う。
  - ・学院ハラスメント規程等の施行に伴う実務体制の整備を行う。

### 2. 経営基盤の安定に向けた学院全体の現状把握と情報共有

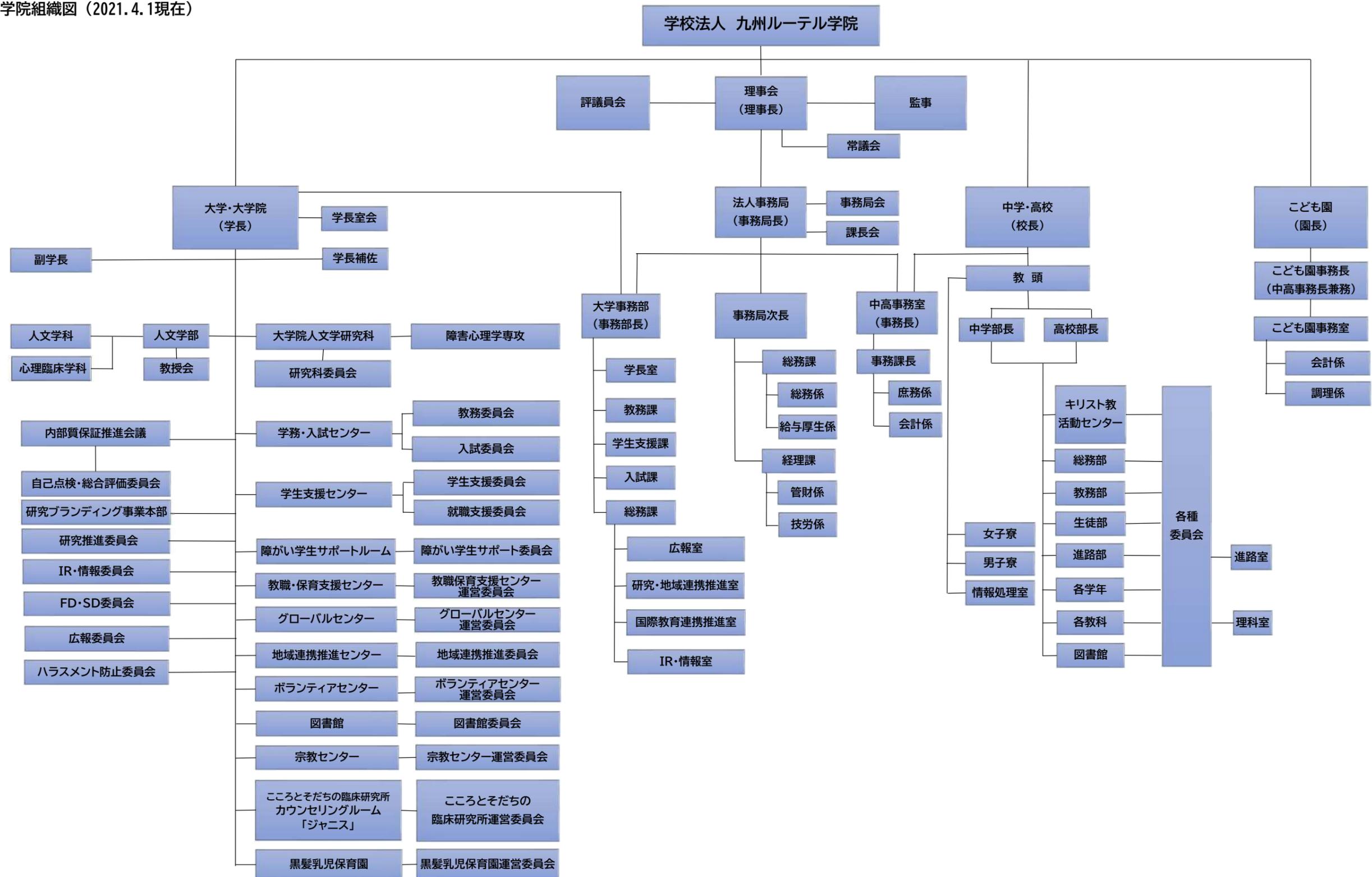
- (1) 業務改善及び学院財務の情報共有

- ・月次又は四半期毎の収支報告を行い、時系列で予算執行状況等を把握し調整検討を行う。
  - ・キャッシュレス化の促進(現金精算から振込精算へ、2年後の完全化を目指す)を図る。
- (2)事業会社の設立に伴う各種契約状況の把握と業務手順等の見直し
- ・設立に向けた学院内外への周知と協力体制の構築を図る。
  - ・業務の効率化・簡素化に向けての情報収集と業務仕分けを行う。

### **3. 創立 100 周年を見据えた将来構想整備計画**

- ・長期視点を見据えた学院内の各機関・部門等の将来像の検討を行う。
- ・上記を考慮した上での将来構想整備計画を検討し創立 100 周年記念事業への準備等を行う。

学院組織図 (2021.4.1現在)



## 法人組織（案）

2021（令和3）年4月1日現在

	理事会		評議員会
理事長	福田 邦子		評議員 福田 邦子
理事	内村 公春		評議員 内村 公春
理事	広渡 純子		評議員 広渡 純子
理事	谷 美和		評議員 谷 美和
理事	内田 正秋		評議員 内田 正秋
理事	久佐賀 眞理		評議員 久佐賀 眞理
理事	石居 基夫		評議員 石居 基夫
理事	角本 浩		評議員 角本 浩
理事	安井 宣生		評議員 安井 宣生
理事	山口 初子		評議員 山口 初子
理事	九谷 晶子		評議員 栗原 裕子
理事	村本 聡子		評議員 金戸 清高
理事	石原 靖也		評議員 坂本 昌弥
理事	片桐 英夫		評議員 鶴山 克郎
			評議員 工藤 憂貴
	以上 14名		評議員 田中 マリ子
			評議員 九谷 晶子
監事	谷口 美樹		評議員 森本 和幸
監事	丸住 洋平		評議員 村本 聡子
			評議員 原田 美鈴
	以上 2名		評議員 野島 規子
			評議員 永江 浩子
			評議員 北川 哉
			評議員 穴井 梨絵
			評議員 石原 靖也
			評議員 田上 正
			評議員 梅元 昭宏
			評議員 谷口 紀子
			評議員 松尾 正一
			評議員 片桐 英夫
			以上 30名

## 教 職 員 組 織

2021(令和3)年4月1日 予定

大学付属 黒髪乳児保育園	園長	1名	非常勤栄養士	1名
	主任	1名	非常勤調理師	1名
	保育士	9名	非常勤調理員	1名
	臨採保育士	0名	非常勤看護師	1名
	非常勤保育士	4名		
認定こども園 ルーテル学院幼稚園	園長	1名	事務長	1名 (兼)
	チャプレン	1名 (兼)	体育	2名 (兼)
	教頭	1名	英語	1名 (兼)
	主幹保育教諭	1名	養護	1名 (兼)
	保育教諭	8名	事務	1名
	非常勤保育教諭	10名	非常勤調理員	4名
	子育て支援員	2名		
	非常勤看護師	2名	用務	2名
	栄養士	1名		
ルーテル学院中学校	部長	1名	事務職員	1名
	教諭	10名	嘱託職員	4名
	臨採教諭	4名		
	非常勤講師	6名		
	非常勤教諭助手	4名		
ルーテル学院高等学校	校長	1名	事務長	1名
	チャプレン	1名	事務職員	3名
	教頭	1名	嘱託職員	1名
	部長	1名	実習助手	1名
	教諭	46名	技労職員	1名
	司書教諭	1名	寮嘱託職員	2名
	養護教諭	2名	寮非常勤職員	4名
	専任講師(J3)	2名	非常勤職員	9名
	臨採教諭	6名		
	非常勤講師	22名		
九州ルーテル学院大学 人文学部	学長	1名	事務部長兼学長室長	1名
	チャプレン	1名	事務職員	15名
	副学長	2名	募集コーディネーター	1名
	学長補佐	3名	技労職員	1名
	教授	16名 (学長・副学長・補佐含む)	非常勤職員	6名
	准教授	14名 (学長補佐含む)		
	講師	5名 (チャプレン含む)		
	助教	2名		
	兼任講師	71名		
	九州ルーテル学院大学 大学院研究科	教授	0名	兼任講師
兼任講師		6名		
法人事務局	事務局長	1名	事務職員	7名
	嘱託職員	2名	非常勤職員	1名

2021(令和3)年3月8日現在

## 園児・生徒・学生数

2021(令和3)年4月1日 予定

学校	学年	クラス数	園児・生徒・学生数		
大学付属黒髪乳児保育園	0歳児(つぼみ)	1	3		
	1歳児(すみれ)	1	12		
	2歳児(たんぽぽ)	1	12		
	3歳児(さくら)	1	8		
	計	4	35		
認定こども園 ルーテル学院 幼稚園	0歳児	1	4		
	1歳児	1	10		
	2歳児	1	20		
	3歳児	2	31		
	4歳児	2	47		
	5歳児	2	47		
	計	9	159		
ルーテル学院 中学校	1年	3	77		
	2年	3	83		
	3年	3	86		
	計	9	246		
ルーテル学院 高等学校	1年	8	320		
	2年	9	356		
	3年	8	275		
	計	25	951		
大学			人文学科	心理臨床学科	計
	1年		101	77	178
	2年	8	95	63	158
	3年	8	106	85	191
	4年	8	113	74	187
	計	24	415	299	714
	長期履修学生		0	3	3
	科目等履修生				3
	研究生				0
	大学院				9

2021(令和3)年3月8日現在

各学校事業及び行事予定 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	九州ルーテル学院大学	ルーテル学院中学・高等学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式</li> <li>・新入生オリエンテーション</li> <li>・フレッシュマンミーティング</li> <li>・前期開講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式</li> <li>・入寮式</li> <li>・入学式、新入生オリエンテーション</li> <li>・中学1年生修養会</li> <li>・歓迎遠足</li> <li>・防災訓練(未定)</li> <li>・奨学生激励会</li> <li>・入寮生歓迎会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生支援懇談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会</li> <li>・内科検診</li> <li>・PTA総会</li> <li>・中学授業参観</li> <li>・高校3年生進路説明会</li> <li>・高校総体・総文(5/28～)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学説明会</li> <li>・新入生歓迎スポーツデー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校前期中間考査</li> <li>・GTEC受験</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学コンソーシアム進学ガイダンス</li> <li>・第1回オープンキャンパス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高1、高2年生カリキュラム説明会</li> <li>・高校第1回オープンキャンパス</li> <li>・キリスト教伝道講演</li> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・中学サマースクール</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期定期試験・まとめ期間</li> <li>・大学院説明会</li> <li>・リカレント教育</li> <li>・教員免許状更新講習</li> <li>・第2回オープンキャンパス</li> <li>・追試・再試</li> <li>・異文化体験学修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私学教育一斉研修</li> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・留学制度説明会</li> <li>・韓国研修旅行(未定)</li> <li>・ミッションクリーン</li> <li>・課題確認テスト</li> <li>・小論文模試</li> <li>・高校学年進路指導</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマーキャンプ</li> <li>・秋季卒業式・入学式</li> <li>・ペプ・ラリー</li> <li>・学生支援懇談会</li> <li>・後期開講</li> <li>・大学キャンパスVisit&amp;Try</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校第2回オープンキャンパス</li> <li>・中学体験学習</li> <li>・中学・高校前期期末考査</li> <li>・GTEC受験</li> <li>・4地区合同保護者会</li> <li>・中学校入試説明会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創立記念日</li> <li>・大学院入学者選抜試験</li> <li>・第3回オープンキャンパス(個別相談会)</li> <li>・こどもフェスティバル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋期休業</li> <li>・創立記念日</li> <li>・後期始業の辞</li> <li>・学院祭</li> <li>・ルーテル学院音楽会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリア祭</li> <li>・ホームカミングデー</li> <li>・学校推薦型選抜(指定校)(併設校)</li> <li>・奨学金大学給付型・学校推薦型選抜(公募)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校入試直前アドバイス会</li> <li>・中学・高校後期中間考査</li> <li>・高校1年研修旅行(未定)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス礼拝</li> <li>・プレ・カレッジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・クリスマス礼拝、キャロリング</li> <li>・中学入試(専願・奨学前期)</li> <li>・中学2年研修旅行(未定)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入学共通テスト</li> <li>・後期試験・まとめ期間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・中学入試(一般前期・奨学後期)</li> <li>・高校入試(専願・奨学、実技)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般I期・外国人・編入学選抜</li> <li>・卒業研究発表</li> <li>・大学入学共通テスト利用選抜</li> <li>・学位論文最終試験</li> <li>・追試・再試</li> <li>・教職赴任前研修会</li> <li>・異文化体験学修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学入試(一般後期)</li> <li>・高校入試(一般)</li> <li>・中学入学者登校日</li> <li>・中学・高校後期期末考査</li> <li>・高校卒業礼拝</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般II期選抜</li> <li>・学位記授与式、Farewell Party</li> <li>・兼任講師懇談会</li> <li>・在学生オリエンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1年生修養会</li> <li>・高校卒業式・中学卒業礼拝・卒業式</li> <li>・大掃除、全校集会</li> <li>・高校入学者登校日</li> <li>・芸術コース演奏会</li> <li>・中学3年生海外語学研修旅行(未定)</li> <li>・アメリカ研修旅行(未定)</li> </ul>

各学校事業及び行事(2021年4月1日～2022年3月31日)

	認定こども園ルーテル学院幼稚園	大学付属黒髪乳児保育園	学院全体
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園式</li> <li>新学期始園式</li> <li>入園感謝親子礼拝</li> <li>お見知り遠足</li> <li>保育参観・組別懇談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学期始園式</li> <li>入園式</li> <li>お見知り遠足</li> <li>保護者会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞令交付式</li> <li>新任教職員オリエンテーション</li> <li>教職員健康診断・胃検診</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>芋の苗植え</li> <li>健康診断・尿検査</li> <li>母の日感謝礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人面接</li> <li>内科検診</li> <li>なかよし保育(未就園児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算会計監査</li> <li>監事監査</li> <li>理事会・評議員会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育参観</li> <li>花の日礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会</li> <li>保護者クッキング</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>デイキャンプ(年長)</li> <li>1学期終園式</li> <li>七夕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕、夏祭り(地域老人会との交流)</li> <li>プール開き</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏期保育</li> <li>長期休暇預かり保育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール参観</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期始園式</li> <li>祖父母お祝い会</li> <li>運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール納め</li> <li>祖父母との集い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事会・評議員会</li> <li>会計士と理事者とのコミュニケーション</li> </ul>
10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもフェスティバル参加</li> <li>ニンジンクラブ運動会(黒髪地区)</li> <li>個人面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立記念日</li> <li>内部統制監査</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新年度入園児願書受付</li> <li>芋ほり遠足</li> <li>子ども祝福礼拝</li> <li>収穫感謝礼拝</li> <li>2・3号健康診断</li> <li>デイキャンプ(年長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫感謝・勤労感謝訪問</li> <li>芋ほり</li> <li>団子汁会(地域老人会との交流)</li> <li>内科検診・歯科検診</li> <li>子ども祝福礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームカミングデー</li> <li>監事監査</li> <li>内部統制監査</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期終園式</li> <li>クリスマス礼拝</li> <li>年長組家族礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリスマス会</li> <li>老人会との交流会</li> <li>終園式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事会・評議員会</li> <li>教職員クリスマス礼拝</li> <li>全職員研修会</li> <li>クリスマスイルミネーション点灯式</li> <li>半期監査</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期始園式</li> <li>年中組家族礼拝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始園式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員新年礼拝</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育参観(だご汁)</li> <li>観劇会</li> <li>豆まき</li> <li>お別れ遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豆まき</li> <li>保育参加</li> <li>保護者向け講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会計士と理事者とのコミュニケーション</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒園感謝礼拝(室園教会)</li> <li>卒園式</li> <li>終園式</li> <li>年長保育参観</li> <li>進級お別れ会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひな祭り</li> <li>お別れパーティー</li> <li>卒園式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事会・評議員会</li> </ul>

定例行事  
 ・避難訓練(毎月)  
 ・体重測定(毎月)

定例行事  
 ・災害安全訓練(毎月)  
 ・身長、体重測定(毎月)  
 ・安全教育(毎月)  
 ・誕生会(毎月)  
 ・なかよし保育(毎週火曜日)

定例行事  
 ・学院連絡会(毎週火曜日)  
 ・常議会(月末最終火曜日)  
 ・安全衛生委員会(毎月)